

# 誰もが安心して 過ごせる地域づくり



認知症サポーター  
スキルアップ研修会  
標準資料

# はじめに

- このプログラムは認知症サポーターの方を対象にしています。
- 地域で認知症を正しく理解し、誰もが安心して生活できる地域づくりをしていきましょう。
- 難しく考える必要はありません。
- 地域の課題を一緒に考え、仲間を作り無理なく活動していく事が大切です。
- そのための第一歩

# 自己紹介（10分間）

- 2人一組、または3人一組になってください。
- お互いに名前、趣味や気になる事を伝え合ってください。
- グループ内でお互いを紹介しあいましょう。



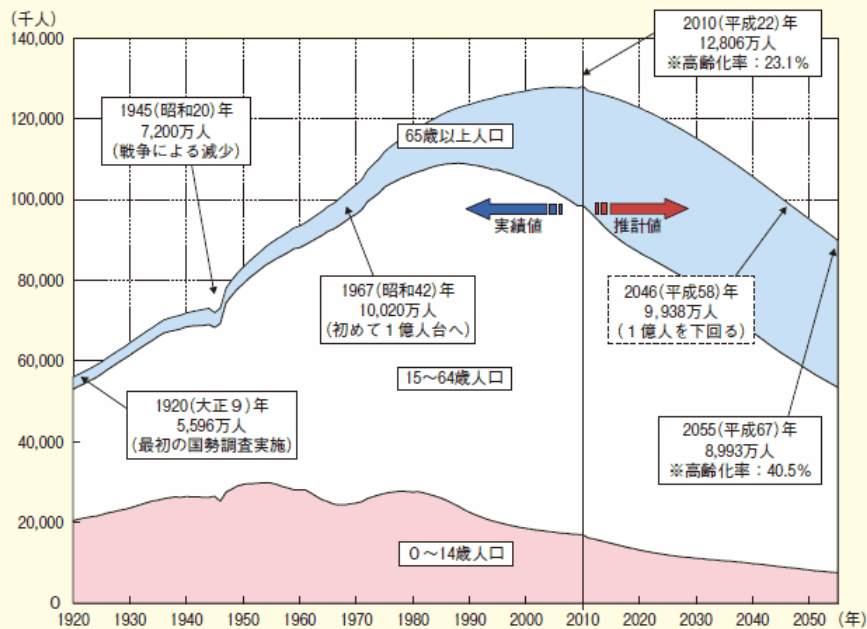


# ①認知症の現状と将来

# 我が国の健康をめぐる現状④

人口は減少し、国際的にも他国に例をみない急速な高齢化を経験

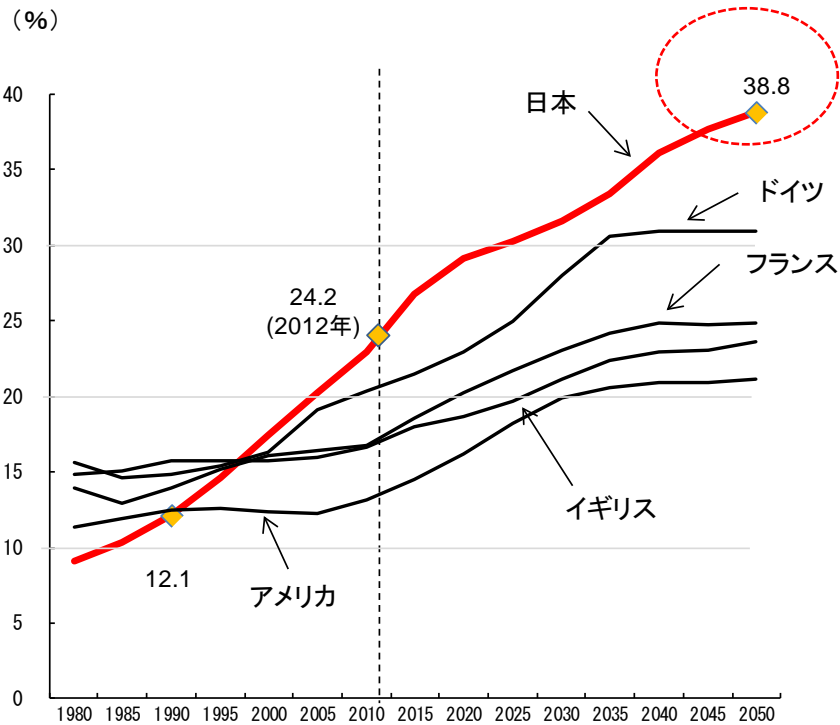
## 人口構造の変化



資料：実績値（1920～2010年）は総務省「国勢調査」、「人口推計」、「昭和20年人口調査」、推計値（2011～2055年）は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」の中位推計による。

注：1941～1943年は、1940年と1944年の年齢3区分別人口を中間補間した。1945～1971年は沖縄県を含まない。また、国勢調査年については、年齢不詳分を按分している。

## 主要国における65歳以上人口の対総人口比の推移

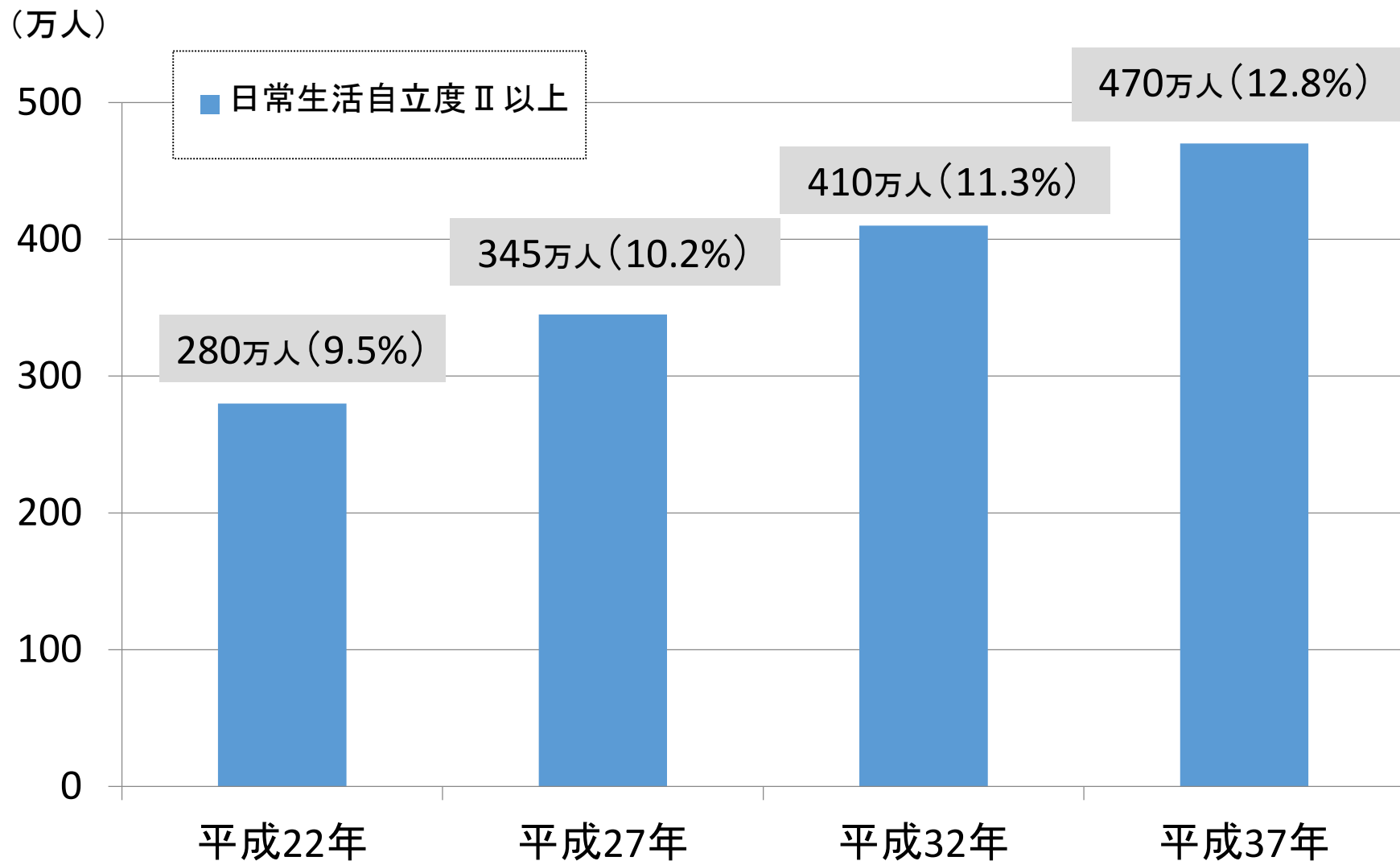


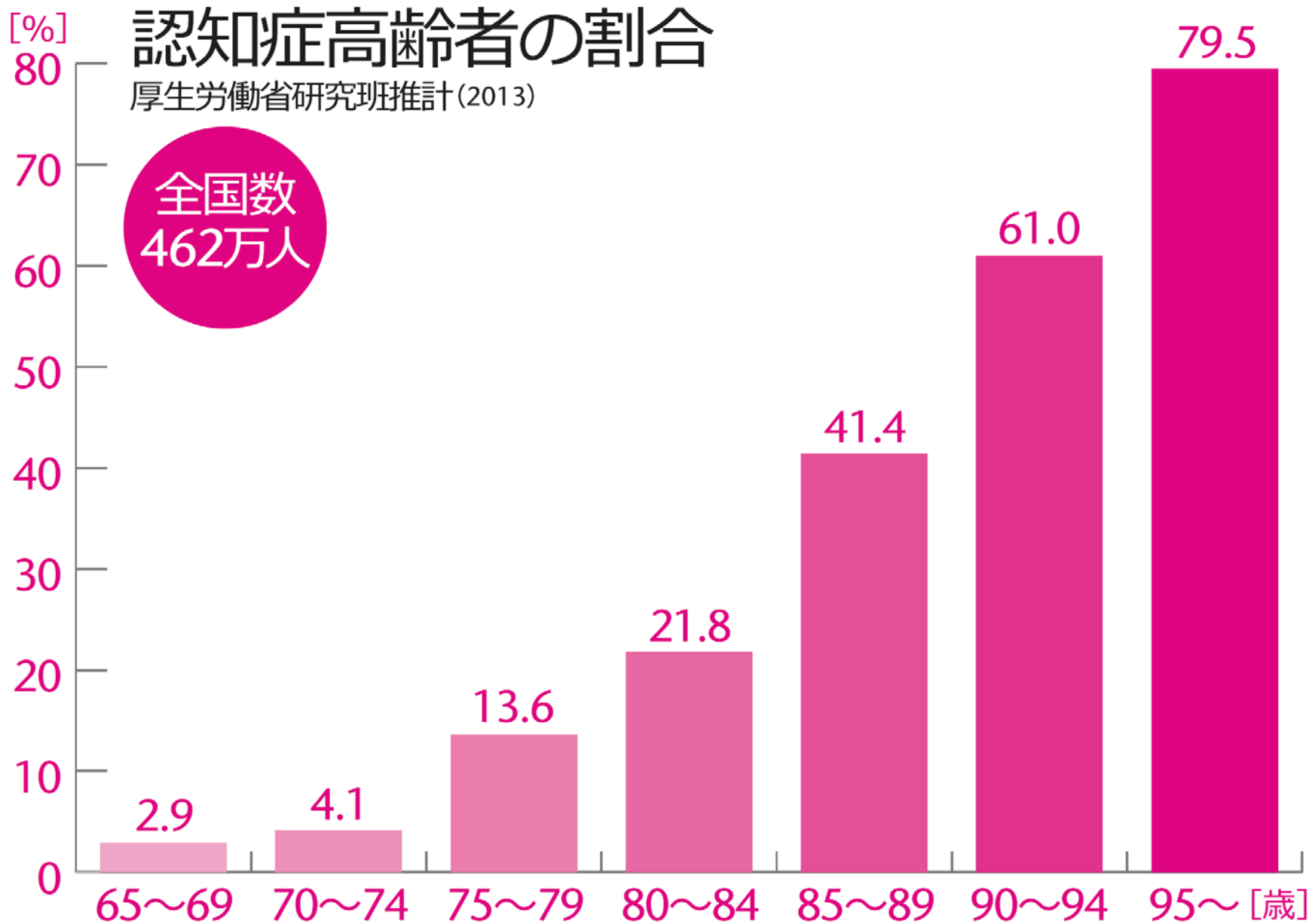
(出典) 高齢化率：日本については、総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」による。諸外国については、国際連合「World Population Prospects」による。

(資料：日本は、総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。諸外国は、国際連合「World Population Prospects」)

# 認知症高齢者数の将来推計

(括弧内は65歳以上人口に対する比率)







## ②地域でのケアについて



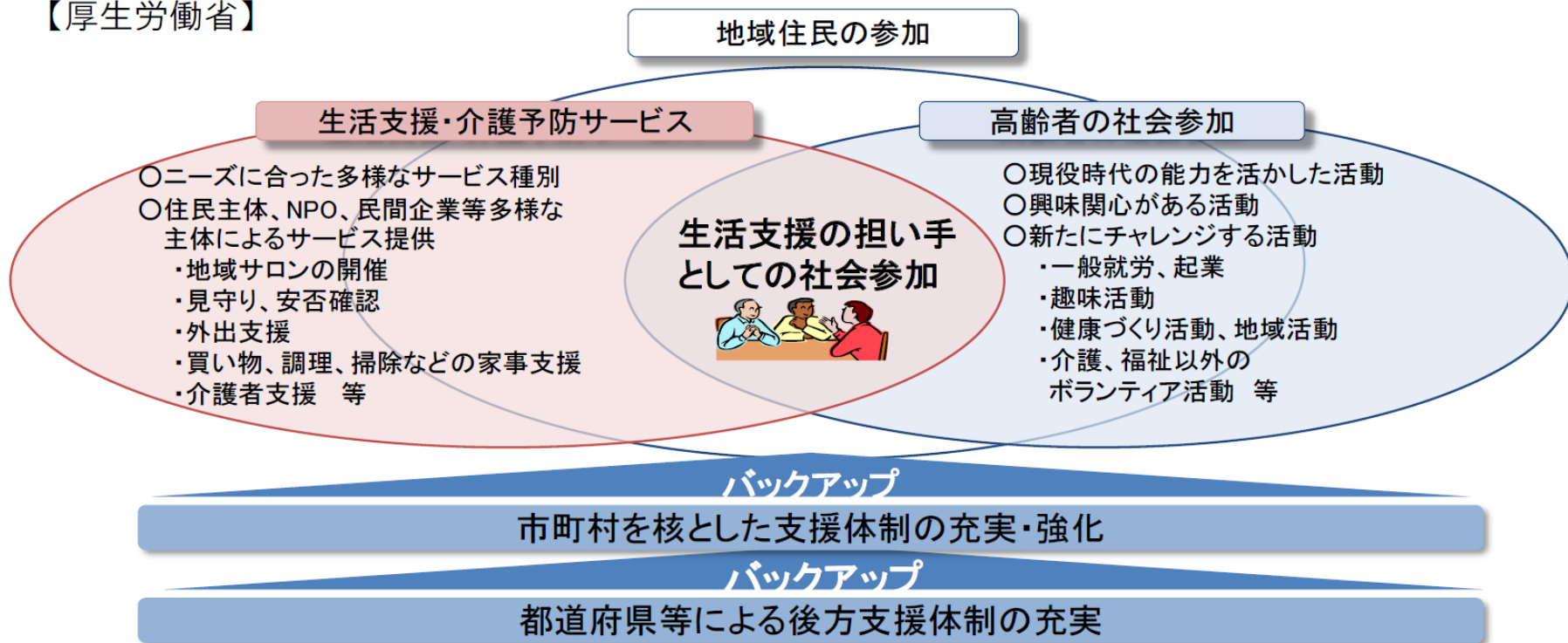
# 認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～

## 5 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

- (1) 生活の支援 <家事支援、配食支援、外出支援、買物弱者への支援>  
<地域における交流の場（サロン等）の設置>
- (4) 安全確保 <地域での見守り体制の整備>

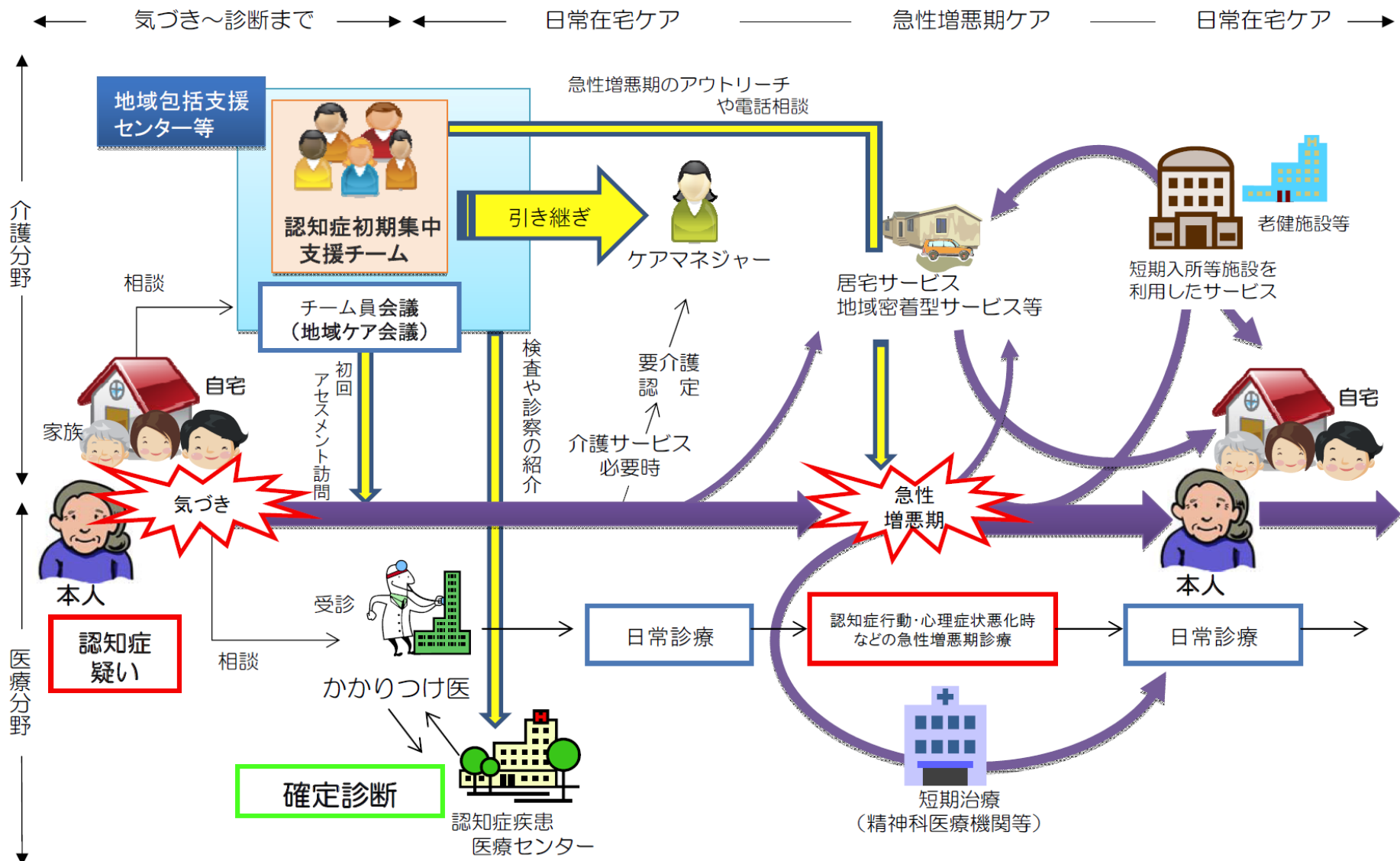
●多様な生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりを市町村が支援することについて、制度的な位置づけの強化を図る。具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置などについて、介護保険法の地域支援事業に位置づける。


【厚生労働省】



# 標準的な認知症ケアパスの概念図

～ 住み慣れた地域で暮らし続けるために ～





③地域における認知症に関するイメージについて

# シナリオA

自分が認知症

# こんな状況を地域で見かけませんか？





# シナリオB

冷蔵庫の中の財布

# こんな状況を地域で見かけませんか？

修学旅行だろう？  
餞別あげるから財布を探しておくれ

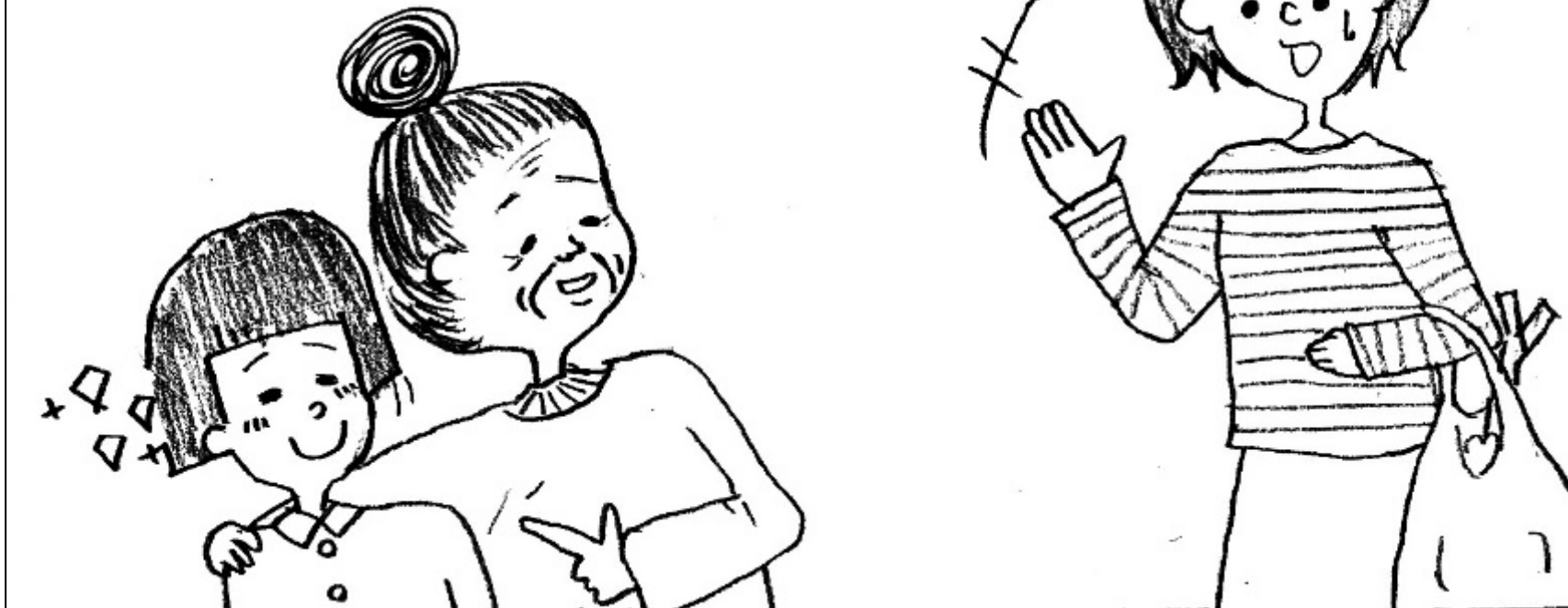






修学旅行は終わりましたよ。  
また財布無くしたんでしょう

修学旅行の餞別あげようと思って財布を探してたのよ





ほら こんなところに！  
まったく ぼけちゃって

お前が隠したんだろう  
もうあなたたちにお金あげないわよ



# シナリオC

祭りの集金

# こんな状況を地域で見かけませんか？





お前じゃあ分からない  
だろうが

なんだい馬鹿にして  
祭りの集金でもしてくる



??

はて今日は何日だったかな？  
祭りの集金は終わったかい？

⚡⚡

お前が集金に行っただろうが

集金袋が有るから確認しましょ

集金



それみたことか！  
だからわしが行くといっただろう

あらやだ  
足りないわね



ん



## スライドを見てどう思ったかを共有しよう

### <グループワーク I > (15分間)

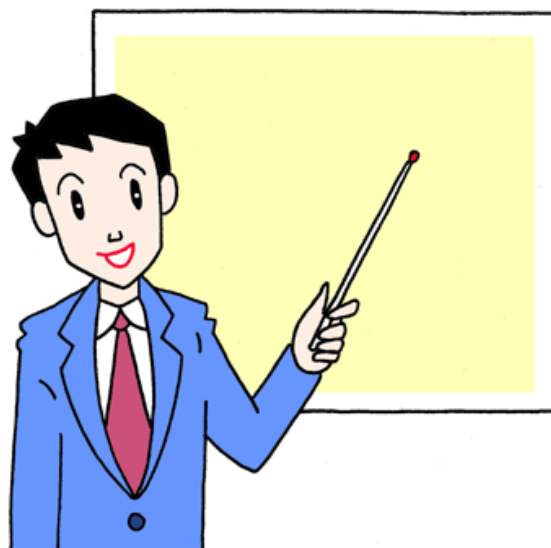
- 同じような状況を見たり聞いた事がありますか？
- 付箋に書いて模造紙に張り付けてください



スライドを見てどう思ったかを共有しよう

<発表>

- 2グループ発表





# 認知症サポーターに期待される事



# 認知症サポーター

## [目的]

認知症を理解し、地域の中で認知症の人や家族をできる範囲内で見守り支援する人(サポーター)を育成し、地域のさまざまな生活場面において実践する



## [展開イメージ]

① 認知症キャラバン・メイト養成研修

キャラバン・メイト連絡協議会がコーディネート

② 市町村のコーディネート  
● 住民集会・学習会  
● 企業等の市民講座  
● 学校等での勉強会

② 職域団体等のコーディネート  
● 職域団体等の講座

(地域での暮らしの応援者)

③ 認知症サポーターの誕生

役割は、

- ① 各生活場面で直接サポート
- ② 様々な社会資源との窓口
- ③ まちづくりの担い手 … など

# 認知症サポーターの課題

(地域での暮らしの応援者)

認知症サポーター

オレンジプラン 600万人  
→ 新オレンジプラン **800万人**  
(平成29年度目標)

認知症に対する理解が深まり、大きな成果があった



ただ、住民からは……

- ・ 講習は受けたが、実際、どのような活動をしてよいかわからない
- ・ どこに活動している仲間がいるのかわからない
- ・ もっと認知症について学びたい

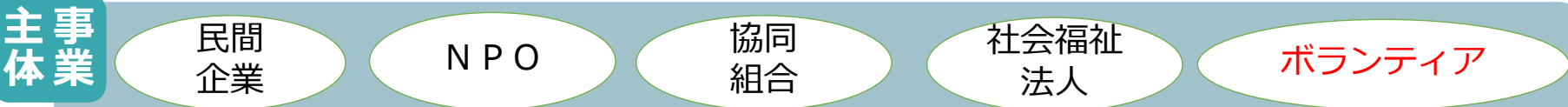
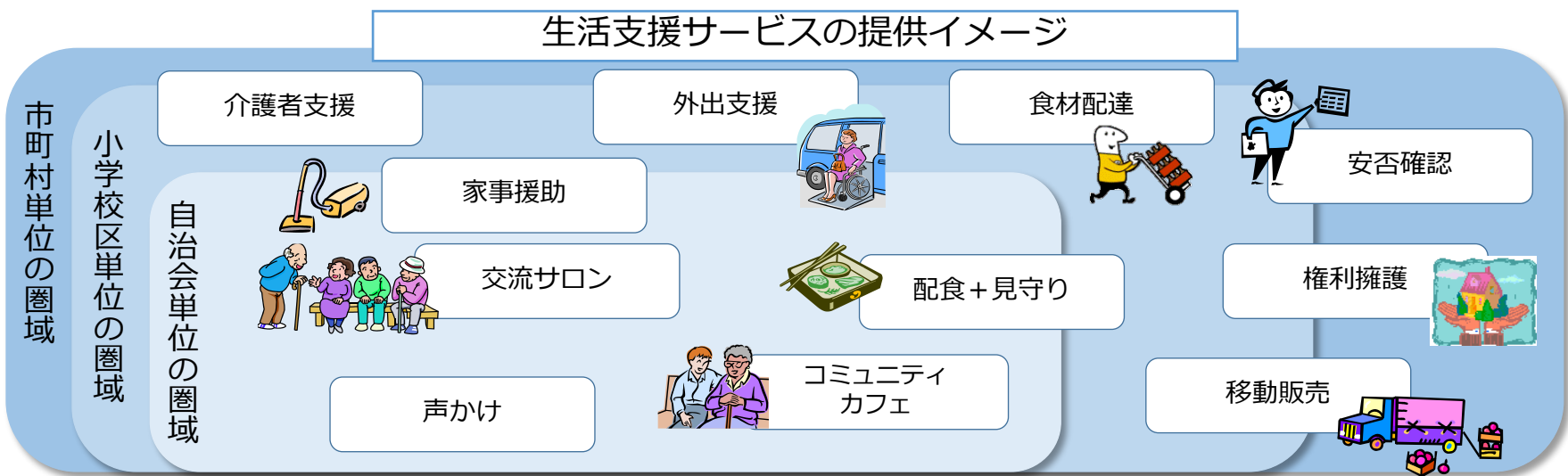
市町村、地域包括支援センターからは……

- ・ サポーター養成講座は開いたが、それだけに終わっている
- ・ 地域活動に積極的なサポーターを組織化できていなかった
- ・ 介護保険の見直しで、地域住民の力が本当に必要になっている

# 多様な主体による生活支援サービスの重層的な提供

○高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援

- ・介護支援ボランティアポイント等を組み込んだ地域の自助・互助の好取組を全国展開
- ・「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置や協議体の設置などに対する支援



## バックアップ

市町村を核とした支援体制の充実・強化（コーディネーターの配置、協議体の設置等を通じた住民ニーズとサービス資源のマッチング、情報集約等）

➡ 民間とも協働して支援体制を構築

# 安心して過ごせるためには何が必要？

## ＜グループワークⅡ＞ (35分間)

安心して過ごせるためには何が必要？

みなさんご自身でサポーターとして何ができそうですか？

- 役割分担を決めましょう(司会・発表者)
- 付箋に書いて、模造紙に張り付けてください



No.6

# 香川県綾川町の例





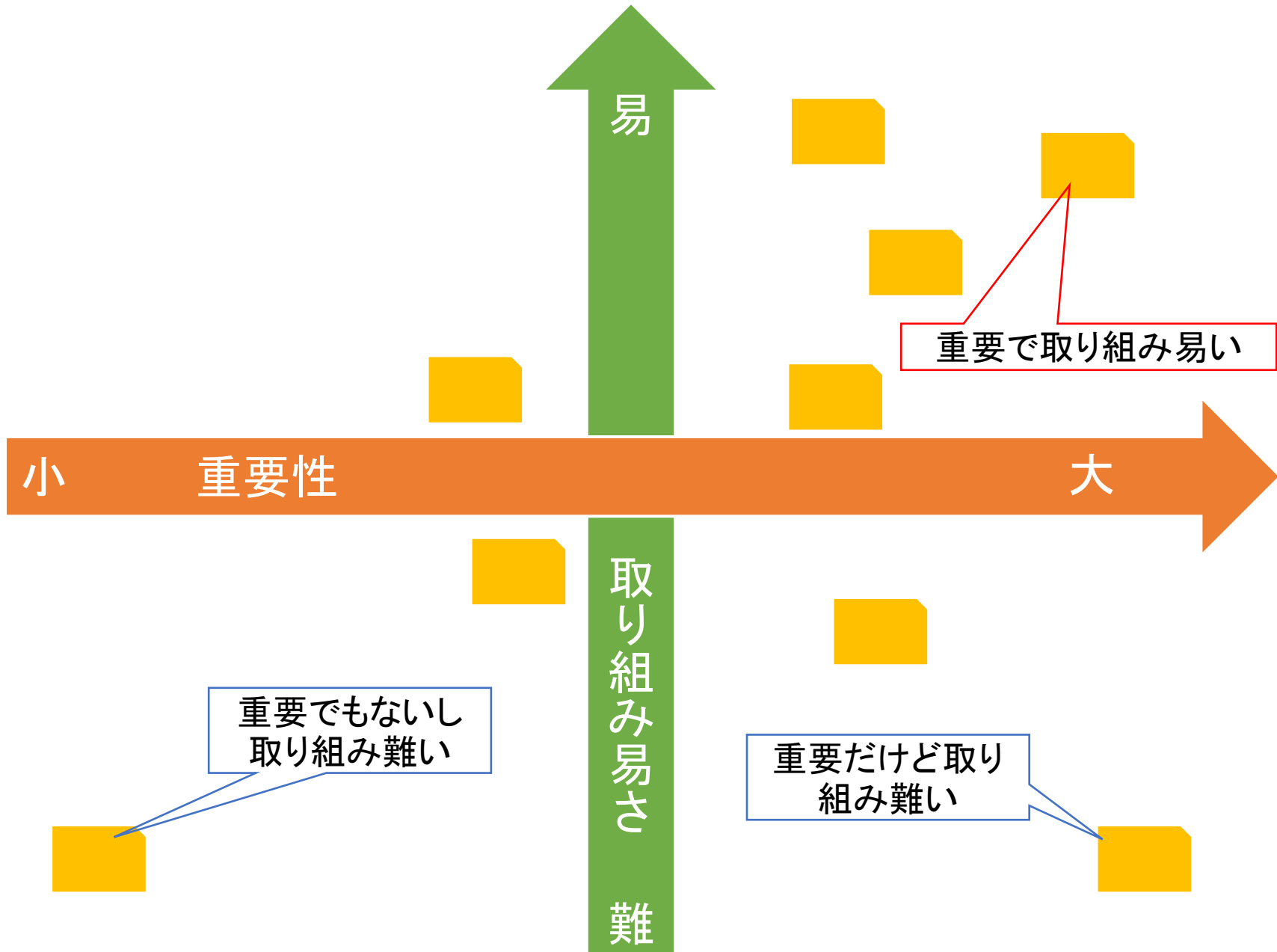
さあー！ 頑張りましょう!!

<グループワークⅢ>  
(15分間)

問:明日からやってみたいこと、やれそうなこと



- 先ほど書いた付箋を活用
- 付け加えて書いてもOK



# 各グループ発表

＜発表1グループ3分間＞  
（合計15分間）

問：明日から何ができそうかも含めて発表してください。

- どのような議論がありましたか？
- 先ほどの分類したものを使って発表してください



# お疲れ様でした

- 次回いつ集まりましょうか？

- 次回の予定

月 日 13時30分～15時30分